

# K I T A 掲 示 板

## 2014年5号

「毎日新聞／朝刊：2014年3月22日発売」

2014年(平成26年)3月22日(土)

毎 日 新 聞

〔第3種郵便物認可〕

### くらしナビ ∞ スローらいふ

「相手のニーズをしっかり聞くことが大事」と語る上野正勝さん



うえの・まさかつ 1941年生まれ、福岡県出身。新日本製鉄鉄鋼研究所で調査研究部長、日本製鉄鋼で技術開発部長などを歴任し、2006年退職。同年KITAのコースリーダーに就任。11年からKITA副理事長兼研修部長。

【高砂菜穂子、写真も】

最近、途上国から希望が多いのが、環境やエネルギー

#### ● ニーズに対応

コースリーダーとなり、カリキュラムを作るのは新日鉄住金やTOTO、安川電機など北九州市内の企業OBら約30人。平均年齢は約70歳だ。研修には市内を中心に300以上の企業や団体などが協力し、年間約40コースを実施している。

例えば、新日鉄OBの上野さんが現役時代に経験したのは、溶鉱炉による鉄鋼生産。それを、電気炉を使う途上国の研修員にそのまま伝えても役に立たない。

会社時代の上野さんの専門は、鉄鋼材料を使った新製品の研究開発。先輩の誘いを受け、KITAで活動を始め、最初の2年間を担当した鉄鋼関係のコースは、その後なくなった。

#### ● 専門外でも勉強

そのために、自分の知らない技術を新たに勉強すること。途上国に、北九州が工業化の過程で公害を克服した経験を提供しているという。途上国が抱えている課題は、身近な生活に関わる環境問題もある。上野さんは「生活排水や生活ごみ、下水道などの対策も途上国にとって参考になる」と語る。効率よく協力するためのノウハウも役立つという。

研修で重要なのが「ニーズをつかみ、それに対応すること」。相手国がどんな問題を抱え、研修員が何を学びたいかよく調査した上で、日本のどんな技術が提供できるかをよく考えようという意味だ。

会社時代の上野さんの専門は、鉄鋼材料を使った新製品の研究開発。先輩の誘いを受け、KITAで活動を始め、最初の2年間を担当した鉄鋼関係のコースは、その後なくなった。

途上国自身が製造する手法をとっている東京のベンチャー企業を見つけて研修に協力してもらった。自分の国で機器を作ることば雇用を生み、メンテナンスができることも意味するからだ。

上野さんは「自分が全く知らなかった世界でも入っていくと、そこで仕事をしている人が情報を提供してくれる」といい「必要とされる世界を前向きな姿勢で開拓してほしい」と後進にも伝えているという。

## 日々は好日

第4土曜

# 退職後、技術生かす

## 上野正勝・KITA副理事長に聞く

会社勤めで培った技術を退職後、発展途上国に役立てたいという技術者の集まりが北九州市にある。北九州国際技術協力協会だ。副理事長の上野正勝さん(72)に活動のポイントを聞いた。

#### ● 途上国を支援

分野の研修。上野さんは「これから工業化を進める途上国に、北九州が工業化の過程で公害を克服した経験を提供している」という。途上国が抱えている課題は、身近な生活に関わる環境問題もある。上野さんは「生活排水や生活ごみ、下水道などの対策も途上国にとって参考になる」と語る。効率よく協力するためのノウハウも役立つという。

研修で重要なのが「ニーズをつかみ、それに対応すること」。相手国がどんな問題を抱え、研修員が何を学びたいかよく調査した上で、日本のどんな技術が提供できるかをよく考えようという意味だ。

そのために、自分の知らない技術を新たに勉強すること。途上国に、北九州が工業化の過程で公害を克服した経験を提供しているという。途上国が抱えている課題は、身近な生活に関わる環境問題もある。上野さんは「生活排水や生活ごみ、下水道などの対策も途上国にとって参考になる」と語る。効率よく協力するためのノウハウも役立つという。

研修で重要なのが「ニーズをつかみ、それに対応すること」。相手国がどんな問題を抱え、研修員が何を学びたいかよく調査した上で、日本のどんな技術が提供できるかをよく考えようという意味だ。

会社勤めで培った技術を退職後、発展途上国に役立てたいという技術者の集まりが北九州市にある。北九州国際技術協力協会だ。副理事長の上野正勝さん(72)に活動のポイントを聞いた。